

# 金沢城公園 河北門



河北門は、金沢城の大手から入り、河北坂を上った三の丸正面に位置し、「石川門」と「橋爪門」と共に「金沢城三御門」と呼ばれている。

金沢城の建物の大半が焼失した宝暦の大火(1759年)の後、安永元年(1772年)に再建され、明治15年頃に旧陸軍により撤去されたが、約130年ぶりの再建となる。

再建にあたっては、絵図、古写真、文献及び埋蔵文化財の調査結果を踏まえ、史実を尊重し復元することとし、日本古来の伝統工法により施工した。



 : 能登ヒバと杉を使用

 : 二の門二階へのスロープ設置



河北門（二の門）



河北門（一の門、ニラミ櫓台）

工事概要

河北一の門	高麗門 高さ 7.4m 幅 4.7m
河北二の門	木造二階建て 櫓門 高さ 12.7m 二階床面積 218.9㎡
枅形土塀	石造 長さ 29.6m (二の門からニラミ櫓台まで)
ニラミ櫓台	木造 長さ 8.6m(一の門脇) 木造 長さ 24.5m 出し 唐破風造 幅 2.4m

DATA

⑤公園休憩施設  
金沢市丸の内地内  
平成19年10月～平成22年3月  
(河北門)  
木造:地上2F  
のべ218.9㎡